

個 人 質 問

議会事務局
処 理 欄

令和5年5月19日 11時21分 受付

質 問 順 位 第 15 番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 梶田 進

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和5年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 河川及びため池の水質について	【趣旨説明】 近年環境問題として大きくとらえられているのは、地球温暖化に対応する温室効果ガス対策が中心となっていますが、最近では地球温暖化の影響による気候変動で異常気温が続いています。 6月5日は環境の日です。これは1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。 国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」が環境保全についての関心と理解を深めるとともに積極的に環境保全に関する活動を行う意欲を高めるため、環境の日を設ける。と規定し「環境の日」を6月5日と定めています。 初夏を過ぎ、いきなり盛夏となったような気温が続くようになりました。このような高温が続くと、どうしても水が恋しくなると同時に水温上昇による悪臭の発生も懸念されてきます。 本町における河川、ため池の水質測定結果については、令和4年12月発行の「武豊町の環境（令和4年版）」によると、若干の変動があるが、ほぼ横ばいという評価がされています。しかし、生活環境保全に関する環境基準から見ると喜んでばかりではいけないと思われることから、以下質問します。 【質問事項】 ① 河川のBOD, COD値から若干の変動と判断されていますが、どの程度の幅が根拠となっていますか。またBOD値の環境保全に関する環境基準値から見た測定値をどのように判断されていますか。 ② ため池のBOD, COD値から若干の変動がありますが、ほとんどが横ばいとみておられますが、若干の変動とはどの程度の幅までと考えておられますか。また生活環境保全の環境基準から見た測定値をどのように判断されていますか。 ③ 河川の測定結果から、水質汚濁に最も大きく影響しているのは家庭から出る生活排水となっています。と結論付けていますが、その根拠は何ですか。 ④ 全体で31地点から25地点の間で調査地点が変更されていますが、変更された主な理由はどのようなものですか。 ⑤ 苦情の中の水質汚濁はどのような内容ですか。苦情地域はどのような地域からが多くなっていますか。 ⑥ 河川、ため池のDO値（溶存酸素値）には水温、採水地点によって変動することを明記すべきではないですか。

2. 学校給食費の無料化を求める	【趣旨説明】 学校給食法に基づいて実施しており、今後も継続する旨の答弁が納得できなく、無料化のできない根拠を再び問う。
	【質問事項】 ① これまでの質疑の中で、法律に規定されているから給食費の無料化はできないとのことだが、法制定時から、自治体の判断で無料化の実施は可能と法案質疑の中で答弁されている。この点についてどのような判断をされているのか。 ② 完全無料化が困難であっても、一定の条件下での給食費の減免の実施の可否についてどのように考えておられるか。